

提案

## 新幹線総合車両センターに関する提案

1月23日 新幹線統括本部より3件受ける! その1

### 新幹線総合車両センター組織再編について

新幹線電車のメンテナンスを持続的に実施していくため、新幹線総合車両センターの組織を再編する。

- ◆ 実施事項【組織図は右図】  
現在の9科体制から6科体制へ組織再編を行う。
  - ・生産管理科と技術科を統合して生産企画科を発足。
  - ・高速走行試験 PT を検査科から品質管理科へ移管。
  - ・輸送管理科と検査科（交番検査）を統合し、運用検修科を発足
  - ・車体科、台車科及び検査科（落成検査）を統合して車両検修科を発足
- ◆ 提案箇所体制について【下図参照】
- ◆ 実施時期【2024年6月1日】
- ◆ スケジュール【下図参照】



#### 総務科

- 企画
- 経営会計
- 総務勤労
- 安全衛生

#### 生産企画科

- 生産管理
- 車両設計
- 資材・情報
- 技術教育
- 外注
- 技術イノベーション
- ミライのS&Eプロジェクト

#### 品質管理科

- 企画ネットワーク
- 保全
- 品質保証
- 車両品質
- 新幹線 CBM プロジェクト
- 高速走行試験プロジェクト

#### 設備科

- 建設工事
- 維持管理

#### 運用検修科

- 技術管理
- 当直構内
- 検修

#### 車両検修科

- 技術管理
- 落成
- 検修

#### 提案箇所体制について

箇所名		現行			改正		
		変形等	交代	計	変形等	交代	計
新幹線総合車両センター	管理	31	1	32	29	1	30
	一般	236	6	242	216	6	222

※業務の繁閑等に応じて1日当たりの出面数（作業ダイヤ数）を柔軟に設定する。

※上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや一般社員が管理者の業務を行う場合がある。

#### スケジュール

内容	2023年度			2024年度		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	▼ 提案		準備等			★ 実施

#### 提案内容に関するやり取り（要旨）

- 組合）組織再編を行う目的は何か。  
会社）持続的な業務推進を行っていくことが目的である。これまでも仕業検査の委託など業務体制の見直しを行ってきた。また、これまで各科に技術管理がいたが、融合することで効率的に業務を進めることが出来る。
- 組合）多能工化していくということか。  
会社）すぐ実現するというものではないが、幅広い業務に携われる体制を目指していく。

提案

## 新幹線総合車両センターに関する提案

1月23日 新幹線統括本部より3件受ける! その2

### 2024年度新幹線総合車両センター業務計画について

安全安定輸送の確保を大前提としながら、E8系台車検査入場に向けた準備等を推進し、新幹線電車のメンテナンスを持続的に実施していくためグループ全体で連携して業務を遂行していく。

- ◆ 定期検査工事計画
  - ・全般検査。台車検査【右図参照】
  - ・交番検査（担当編成数）
    - E5系 26編成
    - E926系 1編成
    - E956系 1編成
- ◆ 主な改造計画
  - ・台車モニタリング改造工事 397両
- ◆ 車両計画
  - ・投入計画 E8系 35両
  - ・配車計画 E2系 40両、E3系 49両
- ◆ 業務等の見直し
  - ・品質管理科ネットワーク担当へのフレックスタイム制導入
  - ・検査工程改善に向けた試行
  - ・在来線車両部品の検修を受託
- ◆ 実施期日
  - ・2024年4月1日



形式	検査両数（両）		
	全般検査	台車検査	計
E2系	0	50	50
E3系	10	21	31
E5系	201	200	401
E6系	65	56	121
E7系	172	180	352
E8系	0	7	7
E926形	0	0	0
E956形	0	0	0
計	448	514	962

#### 提案内容に関するやり取り（要旨）

組合）新幹線の車両メンテナンスについて、JR 本体としての技術継承をどう考えていくのか。  
会社）G 全体として技術を向上していく。直接携わらない作業もあるが、CBM など新しい技術にも目を向けていく。

組合）在来線車両部品を受託とあるが、具体的に何を行うのか。

会社）総合車両センターで実施している在来線部品の内、新幹線部品と類似の部品について一部メンテナンスを行う。なお、施工は JR 東日本テクノロジー(株)で実施する。

組合）在来線同様、車両センターの配置両数を示すべきだ。

会社）年度やダイヤ改正など、どの時点が良いのかもあるので持ち帰り検討する。

#### 提案箇所体制について

箇所名		現行			改正		
		変形等	交代	計	変形等	交代	計
新幹線総合車両センター	管理	31	1	32	31	1	32
	一般	235	7	242	236	6	242

※業務の繁閑等に応じて1日当たりの出面数（作業ダイヤ数）を柔軟に設定する。

※上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや一般社員が管理者の業務を行う場合がある。

その3へ続く

提  
案

## 新幹線総合車両センターに関する提案

1月23日 新幹線統括本部より3件受ける! その3

### 新幹線総合車両センター業務の一部委託について

新幹線電車のメンテナンスを持続的に実施していくため、新幹線総合車両センターの一部業務を委託する。

◆ 実施事項  
台車科における以下の業務を部外委託する。

- a. 車輪圧入
- b. 車輪検圧、軸受隙間測定及び調整
- c. 車輪削正、駆動装置低速フラッシング

◆ 箇所体制【右図参照】

◆ 実施時期

- a. 2024年6月1日
- b. 2024年8月1日
- c. 2024年10月1日

◇スケジュール【右図参照】

#### 提案箇所体制について(2024年10月1日場面)

箇所名		現行			改正		
		変形等	交代	計	変形等	交代	計
新幹線総合車両センター	管理	29	1	30	29	1	30
	一般	216	6	222	208	6	214

※業務の繁閑等に応じて1日当たりの出面数(作業ダイヤ数)を柔軟に設定する。

※上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや一般社員が管理者の業務を行う場合がある。



#### スケジュール

内容	2023年度	2024年度				
	1月	4月	6月	8月	10月	
		▼提案	準備等			
			★a実施	★b実施	★c実施	

### 提案内容に関するやり取り(要旨)

組合) なぜ委託のタイミングが一括ではないのか。

会社) 委託に向けた教育・訓練を効率的に、充実して行うためである。

組合) 10月1日場面の箇所体制のみ示されているが、6月1日、8月1日場面での体制変更は発生しないのか。数を示すべきだ。

会社) 作業が委託となるのでそれぞれの期日で体制変更が発生する。現段階人数を持ち合わせていないので、算出できるかも含め持ち帰り検討する。

組合) 委託の作業はどこが行うのか。また、委託に伴いエルダー及び若年出向は発生するのか。

会社) 委託先は JR 東日本テクノロジー(株)となる。また、今回の委託に伴う出向は現時点では考えておらず、現在の委託先の要員で行う。

新幹線車両の品質を維持するためには技術・技能伝承が図れる体制が必要だ!

現場の実態をもとに議論を深め、新幹線車両メンテナンス職場のレベルアップを実現しよう!

